

県士会 ニュース

No.
201
[2020.2]

Kanagawa Association of Occupational Therapists — KAOT —

Contents

TOPIC

- 4 教育部から大事なお知らせ
- 1 作品コーナー
- 1 巻頭言
- 2 第4回神奈川県訪問リハビリテーション学術集会開催
- 3 公益法人格取得への道 ～公益目的事業比率50%以上を目指し、まずはその一歩を繰り出そう！～
- 3 OTコネクトミーティング開催中！
- 4 各部からの報告
- 7 求人案内
- 7 研修会案内
- 8 事務局からのお願い
- 8 編集後記

作品コーナー



- **作品名** おもいで ● **製作者** 森本 一美 様 (70代)
- **作品について** 「おしゃべりが出来なくなり（声が出せない）孫達と楽しい一時をすごした事がなつかしいな～～」
- **担当作業療法士**
北村 百合子 氏（箱根病院）

作品大募集！

作業療法で作られた対象者様の作品を県士会ニュースに掲載しませんか？
紙面を彩る素敵な作品を募集しております！

応募方法 ①お名前（ふりがな） ②年齢 ③プロフィール
④作品タイトル ⑤作品について作者から一言 ⑥担当 OT のお名前 ⑦担当 OT のご連絡先（Email、電話番号など）
①～⑦を記載し、作品写真を添付して下記アドレスへメールしてください。

募集締め切り 随時募集しております。

お問い合わせ Kouhou-sakuhin@kana-ot.jp（上記のQRコードから読み込めます！）



巻頭言

自動車運転班の活動

神奈川県作業療法士会制度対策部自動車運転班班長
さがみりハビリテーション病院

渡邊 隼人



皆様の病院・施設では自動車運転の再開を希望される方に、どのように向き合っているのでしょうか。私は「自動車運転を再開したいという患者様をどう評価し、どう情報を提供すべきか」という思いから2014年より様々な方からご助言を頂きつつ、多職種を交え本院での運転能力評価体制の構築を図り、近隣教習所や免許センターへの働きかけまで行ってきました。

県士会班として活動を開始することになったのは、2017年にOT協会連転と作業療法委員会により連転支援に関する実態調査アンケートが行なわれた際、神奈川県内でそのアンケートに返答した施設が集まり情報共有をする機会が設けられた事がきっかけです。現在は県内の自動車連転支援に関わる現状把握や情報発信を主な活動とし、加えて全国で初めてOTが配置された免許センターとの連

P2へ続く

携の窓口、支援体制を有していない病院・施設からの相談窓口としても活動していく方針です。

「自動車運転」はその人にとって運転そのものが重要である場合が多く、移動手段として日常生活に密接している作業です。一方で非常に複雑な作業であり、重大な事故に繋がる可能性もあります。近年では認知機能の低下に対する体制が強化された事や、病後に自動車運転を再開する場合には免許センターに可否の判断を仰ぐ（適性相談）必要がある事も知られるようになってきた事から医療機関に相談や診断書の作成に来られる方が増加しています。

適性相談に必要な診断書は医師が作成するものですが、その診断書を作成する際の補助的な情報として机上検査や

ドライブシミュレータなどの評価結果も重要であり、加えて再開へ向けた支援だけでなく返納や返納後の生活まで加味し自動車運転というものを多角的に捉える事ができるOTが支援に関わる必要があると考えています。しかし、自動車運転の可否を判断するのはあくまで公安委員会です。対象者に情報提供をする場合には、伝えるべき内容や伝え方に十分に配慮する必要があります。

県士会班としてそういった皆様に知って頂きたい自動車運転に関わる情報をウェブサイトやブログで発信していきつつ、県内での運転支援体制を整えられるよう、改めてアンケート等も実施させて頂く予定ですのでご協力をお願い致します。



第4回神奈川県訪問リハビリテーション学術集会開催

地域リハ三団体協議会 遠藤 陵晃

超高齢社会となる今後の社会情勢を見据えて在宅リハビリテーションの拡充が求められている中、神奈川県民が住み慣れた地域において健康で自立した日常生活を営むことができるよう訪問リハビリテーションサービスが質と量において社会的ニーズを満たすことが必要となります。神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会では、神奈川県内の訪問リハビリテーション従事者を対象とした研修会や意見交換の場、そして学術集会を毎年開催しております。

今年度で4回目となる学術集会は、令和2年1月18日（土）に横浜市の関内新井ホールで開催されました。口述発表と特別講演「アドバンスケアプランニング」を

テーマに開田脩平氏（みらい在宅クリニック港南 院長）からご講義を頂きます。就学前から終末期まで多様な生活に関わらせていただく訪問リハビリテーションにおいて、在宅生活者における主体的な「活動」や「参加」の意味、アプローチの視点を考える機会になると思います。

学術集会の詳細報告は次月号にでも掲載できればと思います。

神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会ホームページ
<https://kanagawa-houmon.jimdo.com/>

公益法人格取得への道

～公益目的事業比率50%以上を目指し、まずはその一步を繰り出そう！～

公益法人化対策委員会 澤口 勇

現在の（一社）神奈川県作業療法士会が行っている主たる事業内容は会員を対象とした研修会事業が大半で、その内訳も年度によっては県士会総予算の90%以上（人件費等も含む）を占めることがあります。しかしながら当然、会員のニーズとして「作業療法を学びたい」「さらに鍛錬し、県民の健康と福祉の向上に寄与したいので研修会を続けてやって欲しい」などがありますので研修会事業は継続されていくでしょうが、予算案全体を通して公益目的事業（学術、技芸、慈善その他の公益に関する認定法別表各号<略>に掲げる種類の事業であって、不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するもの）に占める事業比率の割合が低いままでは「公益認定」の認可はおりません。

「公益法人」とは「公益に資する活動を主として行っている法人」です。では何をもち「主と」判断するのか、それは予算案上の数字で「予算案全体の50%以上の割合を占める事業があつて、かつそれらが公益目的事業であればそれらを主として行う団体」として認めるといわけです。当然、予算だけでなく実績の方も求められます。一見すると大変厳しい数字に思う会員も多いと思います。がしかし、これはもう時代の要請ではないでしょうか。

おそらく皆さんは職場ではすでに実践しております。例えばご自分の所属する医療機関などが主催者となつて行われる『市民公開講座』などで市民向けにリハビリ講

座を担当したことはありませんか？ また時も令和となり、SNSなどを筆頭に誰もがネットやメディアを通じて医学や福祉の最新知識を直接ユーザー側が専門家を介さなくても手にすることができるようになりました。当事者やご家族の方たちが専門家以上に詳しく知識を持つことも普通です。

そこで改めて考えて見ましょう、何故県士会が公益法人化を目指すことになったのか。それは他職種やご家族、当事者や市民の方たちといった、不特定かつ多数の方々が「いつでも」「どこの地域でも」「常に」「作業療法について自分たちでも学べる場」が求められるようになってきたからと思うのです。これが時代の要請というわけです。政府が推奨している「共生社会の提唱」も一つのきっかけかもしれません。自分たちのことは自分たちで地域の仲間力を借りながら一緒に助け合いながら暮らしていく、そのためにわからないことは自分たちで行政や専門家に聞くという姿勢を持つ。

作業療法のユーザーは作業療法士ではなく、市民たちです。であれば「作業を市民が直接学べる場」を職能団体として作るのではないかと、いうわけです。これは皆さんの現場での公益な取り組みをサポートする立場もあれば、一緒に支え合おうとする立場（地域包括ケアシステムの一助を担う）と両方あるだろうと考えています。そのために、まずは会員自らご自分でその一步を繰り出しましょう！

エリア通信

OTコネクトミーティング開催中！

エリア化推進委員会 大郷 和成

会員の皆さま、こんにちは！

【顔が見えるナナメの関係づくり】をテーマに、「OTコネクトミーティング」を開催しております！

OTコネクトミーティングは、飲み物やお菓子を食しながらざっくばらんに語り合える場です。2019年は3会場で開催。2020年3月までに5会場で開催いたします。ぜひぜひ、県士会HPよりお申込みください！

また、2020年4月以降も県内8エリアで開催予定です！2020年もOTコネクトミーティングをよろしくお願い致します。



各部からの報告

教育部 **連載**「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」 県士会ウェブサイトから質問ができます！

(文責：教育部 奥原 孝幸 (神奈川県立保健福祉大学) 046-828-2738 (直)、kyoiku@kana-ot.jp)

このコーナーは、県士会教育部関連の情報をご案内していきます。教育部はOT協会の生涯教育制度に関する事業を主に展開しています。また今年度から臨床実習指導者講習会の開催も予定しています。教育部の情報はこの県士会ニュースと県士会ウェブサイトを通じて発信されます。

●生涯教育手帳やポイントシールが無くなります！

今回の情報は**重要**です。

先日OT協会教育部生涯教育委員会生涯教育制度推進担当者会議に出席してきました。この会議は全国47都道府県士会から士会長の推薦された推進担当者が参加しています。本土会では教育部理事が推薦されています。

その会議のご報告の一部として、表題の件をご報告いたします。OT協会の会員システム変更に伴い、生涯教育制度が大きな一歩を踏み出します。会員証が配布されなくなり会員システム内に置かれていることはご承知のことと思います。またすでに研修受講カードが配布され、研修会に行くとバーコード受付となります。これまでは生涯教育手帳やポイントシールの管理が大変でした。学会や研修会に手帳を持参し小さなシールを貼る、自分は何かを受講しているのか等自身の手帳でも把握できないシールが多くあった方もいることでしょうか。その手間がなくなり、会員システムの中で一括管理されます。来年度からそれが動きます。本来であれば今年度からそうなるはずでしたが、開発が1年遅れてしまっていました。

そこで、皆様にお知らせとお願いです。**お伝えすること**は、この変更の詳細は来年早々に協会機関紙にて情報が明確に広報されます。

お願いすることは、それまでに今の手帳をきれいに整理しておくことです。手帳に挟んであるシールは貼って内容をお書きください。参加証明書は県士会事務局に送付してポイント化(押印)してください。現職者共通研修、選択研修が修了している方は、各修了確認印押印の手続きを県士会にしてください。また基礎研修修了要件を整えている方は、協会へ申請してください。

県士会ウェブサイト内の生涯教育制度の「県士会の役割と手続き」に詳細があります。申請書(サイト内にあります)、委嘱状や参加証等の文書、手帳内の受講記録(記名のこと)、OT協会会員証(協会HP内会員システムにあるため印刷)、返信用封筒(切手貼付、宛名明記)

を、下記へ送付してください。

〒231-0011
神奈川県横浜市中区太田町4-45 第一国際ビル 301
一般社団法人神奈川県作業療法士会事務局 教育部

なぜそれが必要か。それは来年度いっぱいをかけて、今の手帳を会員システムに移行する作業が必要だからです。修了しているものは反映をさせておかないと、システム移行時に移行できません。この移行手続きは、**会員本人が行い、原則一回限り**です。あとから出てきたものは反映できないことになってしまいます。

臨床実習ポイントや事例報告登録制度登録事例はどうするのか等詳細は、移行後のこととなります。まずは、今年度中に移行するべきご自身の手帳を最新のものにおいて、4月になってこれでもう新しいシールや参加証明書、修了確認はないとなったら、移行手続きをください。**手続きの方法は、協会機関紙に詳しく掲載されます。**またかあ、とネガティブに思う方もいるかもしれませんが、これが最後の移行です。この後はありません。持ち歩く手帳もシールもないのですから。ぜひ移行手続きにご協力ください。

●2月9日(日)開催予定

現職者選択研修(老年期領域の作業療法)の会場の変更のお知らせ

会場：ウイリング横浜→神奈川県立保健福祉大学

都合により会場を変更することになりました。ご迷惑をおかけし、大変申し訳ございませんが、お間違えのないようお願い申し上げます。

●臨床実習指導者講習会に関して

多くの方からお申し込みをいただき、ありがとうございます。定員に対して2倍以上のお申し込みとなり、参加できない方が半数を超えている状況です。来年度も開催予定ですのでご参加をお願い致します。

また、上記の変更に加えて、来年度生涯教育制度が改定され、本講習会が認定作業療法士取得研修に加えられ認定作業療法士取得に必須となり、加えて「教育」がなくなります。詳細は協会機関紙をご参考ください。

地域リハビリテーション部

(文責：遠藤 陵晃)

活動予定

2019年度地域リハビリテーション部は、地域包括ケアシステム・地域共生社会に参画が出来るような作業療法士の人材育成を行っていききたいと思い研修会を実施しています。

右記(予定)の日程で地域リハ部主催の研修会を実施します。※日程、会場変更の場合がありますのでチラシ、県士会ホームページを確認ください。

研修会名	日程	会場
特別支援教育研修会	1月19日	横浜 YMCA 学院専門学校
難病リハビリテーション講習会	2月9日	横浜 YMCA 学院専門学校
地域リハビリテーション研修会	3月15日	横浜 YMCA 学院専門学校

地域とリハビリテーション 多職種との助け合い・共有・支援

令和元年11月10日、立冬を迎え徐々に外の気温が冬へと感じる季節へ向かっていく中、ウィリング横浜にて地域リハビリテーション部主催の「地域とリハビリテーション 多職種との助け合い・共有・支援」という、地域ケア会議をテーマにした研修会が行われました。尚、本研修は神奈川県生涯教育推進事業の委託を受けて開催致しております。

今回のテーマ、「地域ケア会議」は今後の高齢化社会・地域に向けて多職種同士が集まり協業していくため、必要な会議として各地域で開催されています。地域によって、名称も課題解決の内容も個人、市区町村での事象で検討するかなど、地域の特性に合った協議ができるのが特徴ですが、その為想像がつきにくい事や検討内容における知識の深さが必要ではないかとの意見も頂きました。

今回は、地域包括ケアシステムや地域ケア会議などの基礎的な内容を始め、秦野市のケア会議に参加されている作業療法士や保健師の方にも講義して頂き、各視点から求められる作業療法士について聞いたのが印象的でした。また、横浜市の作業療法士、神奈川県高齢福祉課の

保健師さんにもお話頂き、各市区町村で特性があることを改めて知ることができました。そして、それぞれの地域ケア会議について伺えた後により近くで感じられるように、使用されている帳票やデモなどの実施をするなどの今までにはない形式で進行して行きました。最後のグループワークでは、地域ケア会議を経験されていない方が多くいたにも関わらず、積極的なグループワークが進められていたのが印象的でした。今後の地域での作業療法士の活躍や各部門との連携に少しでもヒントになればと思います。

今後も地域リハビリテーション部では、地域に根差した幅広い分野の研修会を企画しております。まだ地域に出たことがない方、地域で活躍しさらに知識を深めたい方もご参加を心よりお待ちしております。



地域包括ケアシステム推進委員会

(文責：西川 航平)

地域包括ケア OT 特別セミナー 報告

来たる令和元年12月1日に地域包括 OT 特別セミナーが開催されました。講師は(株)TRAPE 代表取締役の鎌田大啓氏。テーマは「地域包括ケアシステムにおける作業療法士の可能性」ということで登壇して頂きました。県内外の療法士、他業界の方もおり当日は懇親会(参加者の半数が参加)も含めて大盛況でした。個人的な感想ですが、これほど「well-beingだ!!」と公言する人には会ったことがありませんでした。またその想いには力があり、その熱量を感じた参加者は多かったのではないのでしょうか。もちろん well-being を語る前に、なぜそこが焦点なのか、地域包括ケアシステムの成り立ち、地域共生社会への展望、作業療法士の可能性、海外と対比した日本の強み、海外事例では英国の作業療法士の取り組みなどたくさんの興味深い話をさせて頂きました。また、今回のセミナーは普段地域へ参画している療法士のアップデート研修の趣旨もあり、後半セッションでは実際に各々が地域ケア会議等へ参加はしたときに見えた課題など、地域デザインの観点からアドバイスをもらったり、上手な発信の方法を教えて頂けたりなど、非常に

有意義なセッションとなりました。また地域ケア会議の今後の在り方など内々の話を伺えたことも参考になりました。私も実際に地域に出ていく機会がありますが、やっていることが求められていることだと実感し後押しされた思いです。

最後に鎌田氏の講演の中で「地域包括ケアシステムとは大きな世界に聞こえるが、結局は身近な人、目の前の人の well-being を見出し、それを積み重ねることが重要」とありました。これは作業療法士が地域で活躍できる根源でもあり原動力になることです。その視点からぶれずに私も地域に住む一住人として、作業療法士として地域の人の、地域自体の well-being を発掘・達成出来たらなと思います。

県士会では横浜市地域リハビリテーション活動支援事業を中心として地域支援に取り組んでおります。協力していただける方を大募集中です。ご興味ある方は県士会までご連絡ください。



学術部

スキルアップ研修会『評価・治療の質を上げる脳画像の捉え方』の活動報告

(文責：井上 那築)

学術部主催スキルアップ研修会が、10月20日(日)に開催されました。今回の講師は、昭和大学藤が丘リハビリテーション病院に勤務されており、多数の研究や論文執筆をされている渡部喬之先生をお招きしご講義頂きました。

講義内容としては、【1. 脳画像とCT・MRIの診方】【2. 身体機能と脳画像所見】【3. 高次脳機能と脳画像所見】【4. 事例検討】に分けてご講義頂きました。

【1. 脳画像とCT・MRIの診方】では、臨床に直結する基礎知識に加え、視床や被殻損傷など臨床で遭遇する頻度の高い脳画像を詳細かつ症例も交えつつ丁寧に示して頂きました。

【2. 身体機能と脳画像所見】【3. 高次脳機能と脳画像所見】では、基礎知識をふまえて実際の臨床症状との合致や解釈についてお示し頂きました。

【4. 事例検討】では、渡部先生の豊富な臨床経験から実臨床場面を動画で示しながら治療介入とその変化まで詳細にご講義頂きました。放線冠梗塞事例の長期経過など圧巻の内容でした！

また、本講義では渡部先生のご厚意で、講義中でもメールで質問を受け付けており、中々受講者の前で質問しにくい方でも質問しやすい工夫がされており活発な質疑応



講義中の様子

答がなされていました。受講者のアンケート結果からも大変ご好評を頂きましたので、次回開催時は皆様のご参加をお待ちしております。

【アンケート一部抜粋】

- ・今回の勉強会はとても良かったです。しっかり基礎から見直すこと、区切りをつけてすすめること、小テストは良い刺激でした。ありがとうございました。
- ・事例やクイズがあってわかりやすくイメージがしやすい学術部スキルアップ研修班では、今年度も様々なスキルアップ研修会を開催予定です！皆様のご参加を心よりお待ちしております。

スキルアップ研修会『臨床に生かす作業療法リーズニング』の活動報告

(文責：梶原 真樹)

学術部主催スキルアップ研修会は、11月2日(土)に「臨床に生かす作業療法リーズニング」を開催致しました。

今回の講師は、北里大学の高橋香代子先生、東京工科大学の澤田先生・友利先生・大野先生の4名をお招きしご講義頂きました。

高橋先生からは、Clinical Reasoningの基本的な知識や症例を用いたClinical Reasoningの実際の考え方について講義して頂きました。OTがOTとして患者様に何が出来るか、患者様個々に知識・技術を統合し、オートクチュールなリハビリテーションを提供する必要性について学ぶことが出来ました。

澤田先生からは、過去に経験された患者様からの学び等を例に出して頂き、面接の重要性について講義して頂きました。面接を行う中で患者様のスピリチュアリティに近づくためのポイントや、リーズニングシートの活用方法等について学ぶことが出来ました。

大野先生からは、リーズニングを進める上での協業の進め方やリーズニングの事例紹介について講義して頂きました。協業を進める上では常に確認・モニタリングが大切であること、ナラティブスロープの活用等リーズニングを行う上でのヒントを学ぶことが出来ました。

友利先生からは、事例報告を書きながらリーズニングを整理する方法について講義して頂きました。事例報告・事例研究の意味や、実際の症例を例に出して頂き実施する上での注意点、また論文執筆のヒント等を学ぶことが出来ました。

最後に、参加者を交えた4人の先生方によるシンポジウムを行いました。シンポジウムでは、4人の先生方がClinical Reasoningを行う上で大切にしていることや過去の失敗談、急性期でのNarrative Reasoningのコツ等について学ぶことが出来ました。

学術部スキルアップ研修班では、今年度も様々なスキルアップ研修会を開催予定です！皆様のご参加を心よりお待ちしております。



シンポジウムの様子



講義中の様子

求人案内

作業療法士募集

株式会社リ・ハピネス 児童発達支援・放課後等デイサービス すりーぴーす南風

子ども、家族、そして作業療法士が一緒の方向を向き、行う支援を目指しています。小児分野に興味のある方、お待ちしております。

募集人員：常勤 1名
非常勤 若干名
待遇：常勤 当社規定による 経験年数加算
非常勤 時給2千円～ 応相談
勤務時間：9：00～18：00 非常勤は応相談
休日：週休2日、祝日休
(年に数回、イベントで休日出勤あり)
交通：相模大野駅から徒歩5分
応募方法：Eメールにてお気軽に問合せください
〒252-0303
相模原市南区相模大野 7-17-13
ラ・グラシェーズ相模大野 1F
電話：042-704-6536
FAX：042-704-6537
Eメール：matsuo@re-happiness.co.jp
担当者：松尾

医療法人社団 嘉明会 横浜東邦病院

募集人員：常勤 2名
施設概要：一般病棟 47床
回復期リハ病棟 49床
整形外科、内科、脳神経外科等
訪問リハビリテーション
給与：当法人規定により優遇します
福利厚生：各種社保完備、退職金制度有り
勤務時間：8：30～17：30
休日休暇：4週8休
応募方法：電話連絡の上、履歴書を持参又は下記宛に郵送してください
交通：京急、横浜市営地下鉄「上大岡駅」徒歩7分
〒233-0008
神奈川県横浜市港南区最戸 1-3-16
電話：045-741-2511
Eメール：info@yokohama-toho-group.org
http://www.yokohama-toho.jp/
担当者：医事部 相澤

研修会案内

●高齢片麻痺者に対するハンドリングの基礎からアプローチ

主催：コウセラ 日時：2020年2月7日
場所：金沢公会堂
URL：<https://kouteraken.jimdo.com/>

●動作分析ワークショップ

主催：療法士活性化委員会 日時：2020年2月9日
場所：ウィリング横浜
URL：<https://lts-seminar.jp/motionanalysisws/>

●INCET conceptに基づく変化を出す徒手療法 ～Fascia Release Method (FRM)～

主催：療法士活性化委員会 日時：2020年2月9日
場所：ウィリング横浜
URL：<https://lts-seminar.jp/frm/>

●脊柱疾患のリハビリを効率的に行うための 触診セミナー

主催：療法士活性化委員会 日時：2020年2月15日
場所：ウィリング横浜
URL：<https://lts-seminar.jp/compressionfracture/>

●高齢者介護・看護のための「医学基礎知識研修講座」

主催：公益社団法人 認知症の人と家族の会
日時：2020年2月16日
場所：大和市渋谷学習センター
URL：http://www.alzheimer.or.jp/?page_id=1725

●第55回三浦半島作業療法研究会

主催：三浦半島作業療法研究会
日時：2020年2月28日
場所：神奈川県立保健福祉大学
URL：<http://miuraot.kenkyuukai.jp/event/>

●【緊急開催】地域包括ケア時代に求められる デイ・総合事業対応セミナー

主催：日本通所ケア研究会 日時：2020年2月29日
場所：新横浜プリンスホテル
URL：<https://www.tsuusho.com/day/>

●発達系作業療法学会 第8回学術大会

主催：日本発達系作業療法学会 日時：2020年2月29日、3月1日 場所：長崎大学医学部記念講堂
URL：<https://hattatuot.jp/index.html>

●高齢者における肩の拘縮と痛みに対するアプローチ

主催：コウセラ 日時：2020年3月1日
場所：八洲（やしま）学園大学
URL：<https://kouteraken.jimdo.com/>

事務局からのお願い

● 退会される方 ●

年度内に退会予定の方は、
3月15日までに『退会届』を①郵送
又は②FAXにてご提出願います。
(上記日必着)。

● 届出内容を変更される方 ●

住所・勤務先・氏名・送付先等の変更
がある方は、『変更届』を①郵送又は②
FAXにてご提出願います。(随時受付)。

届出書類は、神奈川県作業療法士会ホームページ公式ウェブサイトのINDEXより、ダウンロード可能です。なお期日までにご提出いただけない場合は、次年度の会費が自動引落としとなり、返金を致しかねます。ご了承ください。

編集後記

挨拶が遅れてしまいましたが、あけましておめでとうございます。前号にて200号を迎えたニュース…2020年も皆さまへたくさん情報を届けていきたいと思っております！本年も広報部をよろしくご依頼致します。さて、2020年はいよいよオリンピックが日本で開催されますね！今回からクライミングやサーフィン等、新競技も加わり、今までのオリンピックとはまた違う雰囲気になるのではないのでしょうか。普段オリンピックをダイジェストで楽しむ私も、自国でやるとなるとわくわくする気持ちになります(^^)時差もないので、今年こそしっかり観て応援したいと思います！！ (さとめく)

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース (201号) 2020年2月発行(年6回発行)

発行責任者 錠内 広之
編集責任者 神保 武則
編集担当 出口 弦舞(国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科)
山岡 光(湘南慶育病院) / 佐藤 愛(新戸塚病院) / 安田 優子(横浜旭中央総合病院)
丸岡 ちひろ(済生会横浜市東部病院) / 松井 洋鷹(浏野辺総合病院)

印刷 発送 株式会社高陽印刷所

事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301号
TEL/FAX : 045-663-5997
月火水木金 10:00~15:00
メールアドレス : jim@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト

<https://kana-ot.jp> → 作業療法 神奈川県 検索

Facebook <https://www.facebook.com/kaotwebkan>

Twitter <https://twitter.com/kaotwebkan>

